

## 令和4年度 重点取組事項に対する取組及び評価

評価は、学校・園が「A:十分達成した、B:ほぼ達成した、C:あまり達成できなかった、D:全く達成できなかった」の4段階に評価し、それを点数化(A=4点、B=3点、C=2点、D=1点)して、市全体の平均(下段の点)をとった。そして、3.5以上をA、3以上をB、2.5以上をC、2.5未満をDと評価した。

### (1)ふるさと半田が大好きな子を育てる。

#### 幼稚園

	幼稚園
①身近な人や生活に興味をもち、関わりを楽しみます。	A 3.5
②新美南吉作品に触れる機会を積極的につくります。	B 3.0

①地域の公園や小学校、中学校、美術館、朝市などへ出かけた。また、防災の話や交通教室、消防自動車見学なども行った。子どもの興味にあったタイミングで出かけることで、より関心をもち、園内では経験できない交流をもつことができた。

②南吉記念館の見学、南吉作品の読み聞かせなどを通して南吉作品や南吉自身に興味を深める子どもが増えた。また、家庭への貸出図書コーナーに南吉作品を展示して手に取る機会をつくった。今後も、発達段階に応じた教材の選定や活動の工夫、及び保護者への啓発が必要である。

### (1)ふるさと半田のよさを知り、愛し、誇れる子を育てる。

#### 小学校・中学校

	小学校	中学校
①コミュニティ・スクールの充実	A 3.6	B 3.2
②郷土学習の推進	B 3.4	C 2.8
③特色を生かした学校づくり	B 3.4	A 3.5

①学校運営協議会の会議の場では、学校や地域の諸問題について話し合い、地域・保護者の立場からたくさんの意見をいただいた。また、学校行事や授業等への支援、及び環境整備等を行っていただく中で、子どもとともに考え取り組む活動が進められている。

②コロナ禍においても、感染症対策を施しながら地域へ出かけた。地域の方を講師に招いて話をさせていただくなど実施する機会が増えてきた。中学校では、活動時間の確保と訪問先との調整に苦慮することもあり、工夫・改善の必要性を感じている。

③学校祭や周年行事、地域の特徴を生かした行事等が実施されるようになってきた。また、保護者の参観もできるようになってきた。中学校では、地域の諸団体や行政機関等とのつながりを生かした取組の進められており、特色ある学校づくりを進めることができた。

## (2) かけがえのない命を大切に育てる。

### 幼稚園

	幼稚園
①自分が愛される経験を大切に、互いに認め合い一緒に活動する楽しさを味わわせます。	A 3.7
②四季や動植物との関わりの中で命に気付く体験を大切にします。	B 3.3

①誕生会への参加を通して、自分が愛されていることを実感できた。また、友達と互いのよさを認め合ったり教師に褒められたりする中で、自己肯定感を高められるよう努めている。

②昆虫やウサギなどの小動物の世話や野菜の栽培活動などを通して、命の大切さや誕生・成長の喜びを感じとることができ、充実した教育活動が行われている。

## (2) かけがえのない命を大切に、人の役に立とうとする子を育てる

### 小学校・中学校

	小学校	中学校
①命の学習の充実	A 3.6	B 3.2
②「特別の教科 道徳」の推進	B 3.1	B 3.2
③教育相談体制の充実	B 3.4	B 3.3

①関係機関の協力により、命を守る現場で働く方々の生の声を聞く機会を得て、児童生徒は命について深く考えることができた。今後も、日常的、継続的な指導を行い、自他のかげがえのない命を大切に育む気持ちを高めていきたい。

②道徳教育推進教師を中心に、各校で道徳の授業実践・研究が進んでいる。また、学校公開日に道徳科の授業公開を行うなどして、保護者への周知を図っている学校もある。読みもの教材だけでなく、様々な指導方法の実現により、子どもたちが真剣に考え、心に響く道徳科の授業ができるように研鑽に努めていきたい。

③「Q-Uテスト」の活用や教育相談の実施、誰にでも相談できる体制の整備・周知等により、安心して生活できる学校づくりに努めている。また、中学校だけでなく、小学校においても、子どもたちの様子について定期的に情報交換を行う機会を設定する学校が増えてきている。

(3) 夢をもち、楽しく遊ぶ子を育てる。

幼稚園

	幼稚園
①友達と共に遊ぶ中で、好奇心や探究心を育てます。	A 4.0
②ごっこ遊びや手伝い（係活動）を通して、夢やあこがれをもたせます。	A 3.8
③キャリア教育の一環として、幼稚園から小学校へのつながりを円滑にする取り組みを進めます。	B 3.3

①遊びの中での気付きや疑問を友達と共有できるようにしたこと、友達と考えたり工夫したりして遊びを広げていく姿をよく見かけるようになった。

②友達と共通のイメージをもち役になりきって表現できるように環境を整えたことで、充実感や達成感を味わい、将来への夢や憧れの気持ちが膨らんだ。係活動を通して、役に立つ喜びを感じ自信につながった。また、年上の子の行動を見て、憧れの気持ちをもった。

③小学校へ出かけたり校長先生に話をしてもらったりして、小学校入学に期待をもてるように努めた。また、中学校区キャリア教育推進協議会などでの情報交換を密に行い、課題を共有することもできた。

(3) 確かな学力を身に付け、夢や目標に向かって自らを高めようとする子を育てる。

小学校・中学校

	小学校	中学校
①キャリア教育の推進	B 3.1	B 3.2
②「主体的・対話的で深い学び」を保障する授業改革	B 3.1	B 3.2
③特別な支援を要する児童生徒への指導の充実	A 3.6	B 3.2
④ICTの利活用	A 3.6	A 3.5

①今年度も幼稚園、保育園、小学校、中学校のキャリア教育の取組を報告書にまとめ、他校・園の取組を参考にできるようにした。「キャリアパスポート」の活用が浸透しつつあるが、小中間の連携が課題である。

②校内現職教育を中心に、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに努めることができた。一人1台のタブレット端末の活用も進み、一人一人の考えを明確にしたり友達と意見交換したりする学習が進んだ。今後は、さらなる深い学びの実現のため、意見交換にとどまらず、自分の考えを再構築する時間をしっかりとるなどの工夫が必要である。

③TTによる指導や生活支援員・特別支援学級補助員、心の教育相談員の活用等により、組織的・計画的に行うことができた。教員のさらなる力量向上のため、研修の充実が必要である。

④一人1台のタブレット端末を含めICTの利活用が進み、授業だけでなく、欠席児童生徒への対応、欠席連絡など様々な場面で利活用されている。学校間、教員間に苦手意識等の差があり、さらなる研修を通して利活用の推進を図っていく必要がある。

(4)生活リズムのよい、心身ともに元気な子を育てる。

幼稚園

	幼稚園
①家庭との連携を図り、健康的な生活のリズムを身に付けます。	B 3.0
②戸外遊びや運動遊び、リズム遊びを通して、基礎的な体力や体の動きを身に付けます。	A 4.0
③栽培・収穫・調理などを通して、「食」の喜びを味わわせます。	A 3.5

①園だよりや懇談会の中で「早寝・早起き・朝ごはん」など生活リズムを整える大切さを保護者に伝え続けたことで、家庭の協力を得ることができた。個人差が大きいため、今後も個々の家庭に合わせた連携の取り方を工夫する必要がある。

②子どもたちの興味に合わせて戸外遊びや運動遊び、リズム遊びを行ったことで、体を動かすことの楽しさを感じることができた。戸外遊びや運動遊び、リズム遊びに対して、意識や体力等の個人差に配慮していく必要がある。

③栽培・収穫・調理活動を通して、収穫の喜びや食べ物に対する興味関心が高まり、自ら進んで食べようとする気持ちが育っている。教師自身の栽培・調理法などの知識の習得と、時期や機会を逃さない工夫が必要である。

(4)望ましい生活習慣を身に付け、健康と体力の向上を図ろうとする子を育てる。

小学校・中学校

	小学校	中学校
①基本的な生活習慣の確立	B 3.2	B 3.4
②心を耕す読書活動と音楽文化振興	A 3.6	B 3.0
③体力の向上	B 3.2	B 3.0

①校内で共通理解を図った上で、日常的に基本的な生活習慣の指導を行っており、成果を上げている。今後は、家庭への啓発や個々の家庭に合わせた連携の取り方を工夫する必要がある。

②読書については、市図書館と連携したり読み聞かせボランティアの協力を得たりするなど、各校で工夫した取組を進めている。新型コロナウイルス感染症の影響で制限が多く中止となった音楽活動もあったが、感染症対策を工夫して実施できたものもあった。今後は、感染症対策と音楽活動の実施方法の工夫が必要である。

③中学校では、新型コロナウイルス感染症の影響で部活動について、例年のような実施が叶わなかったが、半田市ガイドラインに沿った部活動運営を行う中で、生徒の意欲的な参加と技量向上を図っている。小学校では、業間運動について、教員もともに取り組むなど工夫して取り組んでいる学校が多い。今後は、運動についても、感染症対策と運動に親しむ取組の工夫が必要である。